科研算

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 1 6 日現在

機関番号: 13901

研究種目: 基盤研究(B)(特設分野研究)

研究期間: 2019~2022 課題番号: 19KT0002

研究課題名(和文)言説を動かす情動とファシズムの変貌:テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析

研究課題名(英文)Emotions Driving Discourse and the Transformation of Fascism: Text Mining Analysis of German, Italian, French, and Japanese Sources

研究代表者

中村 靖子 (Nakamura, Yasuko)

名古屋大学・人文学研究科・教授

研究者番号:70262483

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 14,100,000円

研究成果の概要(和文):ファシズム思想が精神主義的な傾向を帯び、それゆえ文化運動と共に展開したことに鑑み、本研究はスイス、イタリア、フランス、日本における20世紀初頭の文化運動に着目し、オラリティを介して集合的記憶の形成される過程を辿った。そのために独伊仏日語のオラリティ資料をテキストマイニング手法により比較解析し、人間の社会に情動が広範なムーヴメントを創り出すメカニズムを考察した。そのために文字資料のみならず、ファシズム期の演説や式典、公共芸術や文化遺産保護をめぐる言説、文芸誌の検閲や国策映画の制作過程など、各言語の文字テキストや公共空間における造形芸術を対象として、超言語圏的に同時代の言説の動きを追跡した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究は、言語を異にする文化圏を超域的に横断し、それぞれの地域・文化内部でどのようにファシズム思想が醸成され展開していったかを、各言語圏の文字テキストやオラリティ資料を分析し統合的に検討した。これまで、研究者自身がフィールドとする文化圏や言語圏が制約となることが多かったが、こうした超域的な議論の場を共有し、考察したことは非常に重要な意義をもつ。これまでの成果を踏まえ、ファシズム研究をアナキズム思想という視座から論じることが有効であると考え、アナキズム研究者らと共に「21世紀の映画と社会」と題したワークショップを企画・実現した。この成果発信は「オラリティと社会」という観点からも極めて有効だった。

研究成果の概要(英文): Considering that fascist ideology had spiritualist tendencies and therefore developed along with cultural movements, this study focused on the cultural movements of the early 20th century in Switzerland, Italy, France, and Japan, and traced the process by which collective memory was formed through orality. For this purpose, we used text mining techniques to compare and analyze orality materials in German, Italian, French, and Japanese, and examined the mechanisms by which emotions create broad movements in human beings' societies. To this end, we traced the movements of contemporaneous discourse in a supra-linguistic manner not only through textual materials but also through textual texts in each language and the plastic arts in public spaces, including speeches and ceremonies during the fascist period, discourses on public art and cultural heritage protection, censorship of literary magazines, and the production process of state-sponsored films.

研究分野: 思想史・ドイツ文学

キーワード: ファシズム テキストマイニング 大統領演説の検証 文芸誌の検閲 芸術運動 国策映画

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

「感情政治」6はナチスのプロパガンダを嚆矢とするが、そもそも啓蒙主義以来、共感は市民教育の鍵語となり、劇場やベストセラー小説をとおして広い射程を獲得してきた。また、プロパガンダという術語自体は第一次世界大戦直後には広く知られており、「教養の社会化」のためにラジオ放送が果たした役割は絶大だった。 ドイツにおけるナチス研究は枚挙に暇がないが、「隣国ドイツのナチス化」という脅威にさらされた近隣諸国が、ナチズムに対抗するために自らファシズム化していった状況下における人々の心性を、さまざまな文化運動のオラリティ資料から多角的に浮かび上がらせることが必要と考えるに至った。

2.研究の目的

近年、感情や記憶は社会的に構成されるものであり、文化・社会・時代に応じて異なるという考えがさまざまな領域で受容されつつある。今日、ともすれば扇情的なポピュリズムが横行するが、人々の不安や恐怖が制御を欠けば、危険な政治的情況を招きかねない。過去の記憶を継承することが重要であるのは言うまでもないが、問題は、その記憶が惹起する感情のあり方である。図 1 が示すように、トピックや情報量ではなく、感情を喚起する言葉の多さによって言説は拡散し広く共有される 11。世界の各地で文化的摩擦が激化しつつある中で、適切な歴史認識のみならず、社会的な感情をいかに構成し、文化的社会的歴史的な敷居を越えて共有するかが喫緊の課題となっている。本研究はこれらの問題を受け、多領域のオラリティ資料の解析に基づき、言説を動かす情動と社会の変化を浮かび上がらせることを目的とした。

3.研究の方法

本研究は、文字資料のみならず、ファシズム期の演説や式典、公共芸術や文化遺産保護をめぐる言説、文芸誌の検閲や国策映画の制作過程など、独伊仏日の言語テキストや公共空間における造形芸術を対象とする。その上で、特定の歴史的・外交的・政治的出来事をメルクマールとして、その前後における人々の心性を比較分析し、その変化と社会の動勢との相互作用をテキストマイニング手法(語句の頻度分析、関連分析、特徴分析、潜在的トピック分析、クラスター分析など)により多言語圏にまたがって共通する心性の動きを可視化する。それにより経時的かつ多角的な比較分析を行い、個別のテキスト分析からだけでは分からない人々の心性や時代性の変化を可視化する。言語圏ごとの変化の特徴と言語圏をまたがる共通項を抽出しつつ、時代の転換点を創り出す歴史的な出来事との相関性を考察する。具体的には以下のようになる。

- 1, スイスにおける「自由」と「中立」概念の変成(中村・葉柳) 中村はスイスにおける自由と国民統合という理想の統一的実現形態について各陣営の演説などを階層的クラスター分析やトピックモデルにより分析し、シラーをどのような文脈で利用したかを可視化する。さらに『スイスの中立 主義の歴史』25 を電子化し、「中立」概念の経時的な分析を行う。当該書籍は入手しているが、膨大な量であり、テキストの電子化とクリーニング作業(形態素解析等)のため RAを1名雇用した。また葉柳は、ナチス政権時代、スイスの大統領であったフィリップ・エターの演説をデジタル化し、エターの大統領就任以前、就任後、第二次世界大戦前夜、開戦後、終戦後に亘り、演説の変化を構造的トピックモデルにより経時的に明らかにし、分析した。
- 2, イタリア・ファシズム期の公共芸術と言説(池野) 1920 年代イタリアはモニュメントブームが興り、殉教者の慰霊碑などが各地に建てられるが、池野は、こうした公共的空間に建立されるモニュメントが人々の記憶の形成やファシズム体制の可視化にどう貢献したかを、同時期に推進された過去の文化遺産の保護とも関連付けて論じた。
- 3, ナチス占領下における文芸誌の検閲から見る思想統制(重見) 第二次世界大戦期のフランスで保守系新聞の『アクシオン・フランセーズ』から派生した極右の週刊新聞『ジュ・スィ・パルトゥ』の文芸欄「コズリィ・リテレール」全号分を取り上げて当時の思想統制について考察する。そのためパリ国立公文書館(パリ)、ピュイ=ドゥ=ドーム県公文書館(クレルモン=フェラン)で資料収集を行い、入手できたテキストを順次電子化した。
- 4,日独文化交流史におけるファシズムの浸透(山本・中川) 山本は、江戸川乱歩の作品が、大戦 以前、大戦中、大戦後を経てどのように作風が変化したかをマイニングにより明らかにした。ま た中川は、1940 年に大政翼賛会文化部部長に 就任した岸田國士は、『力としての文化』(1943) において伝統的文化の保護、営利主義の追放のために国家統制を肯定していた。戦後、1946 年

- 11 月の文学雑誌『文学時評』で帝国主義者として厳しく批判されたことを機に、岸田に対する評価はいまだ揺れている。岸田自身のテキストをマイニングにより分析し、岸田を一つのケースとして全体主義に対する文化人の態度の変遷を辿った。
- 5 , テキストマイニングに関する技術指導(金) 金が開発した多言語テキストマイニング (MTMineR)のソフトをメンバーが実践するにあたり、個々の局面において生じる技術的困難の解決、新たな機能の追加など、テキストマイニングの方法とソフト開発及び技術指導技術的サポートをした。ソフト開発のための RA を 1 名、電子化作業のために 2 名雇用した。
- 6, 本研究への紛争研究の知見の応用と理論構築(大平) 大平は紛争に関する学際研究において、ある文化集団が、世代を経るに従って全体主義的・排外的な者に変貌していく現象を、ヒトという種が進化の過程で育んだ特性と、現在のヒトという主の脳機能の特性から検討してきた。これらをふまえ、本研究では情動と言語に関する心理学的構成主義を基盤とした立ち位置より、各時代、各地域におけるファシズム研究と照合し理論的構築を図る。

4. 研究成果

本研究期間の間に、テキストマイニング講習会を合計 6 会開催し、特に人文系研究者にテキストマイニングに関するスキル向上に努めた。それらの成果の 1 つとして、金・中村共編著『文学と言語コーパスのマイニング』(岩波書店、2021年)を出版した。また 2022 年度には、論集『予測と創発』(春風社、2022年)を出版した。

本研究課題では、特に文字資料以外の資料による感情の誘発に着目した。その一環として、2023 年 2 月 18 日には、「人新世」におけるアートと題したワークショップを企画し、京都大学名誉教授の岡田温司先生を講師に迎えて「アントロポセンとアート」と題した講演会を一般公開の形で開催した。また、2023 年 3 月 20-21 日には、メンバーや研究協力者によりワークショップ「21 世紀における映画と社会」(長崎大学)を一般公開の形で開催した。映画クルー・空族の監督である富田克也氏、脚本を担当している相澤虎之助氏、それに加え、OneMekong クルーらを迎え、二日間にわたって映画「サウダーヂ」や「国道 20 号線」の上映のみならず、映画と物語、音楽との関わりなど縦横に講演してもらい、これを元に一般参加者をも交えて、21 世紀における映画と社会について活発に議論を交わした。

研究期間終了を迎えるにあたり、論集『予測と創発』の刊行を記念して、2023 年 3 月 29 日には論集刊行記念シンポジウムを名古屋大学にて開催し、広く一般に成果を発信した。

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文〕 計92件(うち査読付論文 78件/うち国際共著 8件/うちオープンアクセス 67件)

[〔雑誌論文〕 計92件(うち査読付論文 78件/うち国際共著 8件/うちオープンアクセス 67件)	
1 . 著者名	4 . 巻
中村靖子 	5
2.論文標題	5 . 発行年
記憶が出現するときーーフロイトの思考と 現実 ーー	2022年
3.維誌名	6.最初と最後の頁
人文学研究論集	29-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Imamura Chie、Sakakibara Kiyomi、Arai Kyosuke、Ohira Hideki、Yamaguchi Yuhei、Yamada Hitoshi	19
2.論文標題	5.発行年
2 . 調义信题 Effect of Indoor Forest Bathing on Reducing Feelings of Fatigue Using Cerebral Activity as an	2022年
Indicator	,
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Environmental Research and Public Health	6672 ~ 6672
<u></u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.3390/ijerph19116672	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Suga, A., Naruto, Y., Maulina, V. V. R., Uraguchi, M., Ozaki, Y., & Ohira, H.	12(1)
2.論文標題	5.発行年
Mothers' interoceptive sensibility mediates affective interaction between mother and infant.	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports,	10850
 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本芸の右細
拘載調文のDOT (アンタルオ ノンエク 下蔵別士) 10.1038/s41598	査読の有無 有
10.1000/041000	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英老夕	T 4 #
1 . 著者名 Tamura Kaho、Kobayashi Yoshinari、Ohira Hideki	4.巻 12
Tamura Nano, Nobayashi Toshinari, Olira mueki	12
2 . 論文標題	5.発行年
Interoceptive Accuracy Did Not Affect Moral Decision-Making, but Affect Regret Rating for One'	2022年
s Moral Choices	
3.雑誌名 Frontiers in Psychology	6.最初と最後の頁 746897
Trontitors in reyoliology	140031
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2021.746897	有
 オープンアクセス	国際共著
カープンテッピス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- -
and the state of t	

1.著者名	
	4 . 巻
Ueno, D., Ohira, H., & Narumoto, J.	16
2 . 論文標題	5 . 発行年
Interoception and the autonomic nervous system: Investigating affect, decision-making, and	2022年
mental health	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Neuroscience	646240
Troitters in Neuroscience	040240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.3389/fnins.2022.	有
1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Tian, J., Hieida, C., Yoshimoto, J., Kimura, K., Ohira, H., & Ikeda, K.	2
Train, C., Morad, C., Toommoto, C., Kimara, K., Silira, II., & Moda, K.	
2.論文標題	5.発行年
A study for the exploration-exploitation strategy of human based on restless two-armed bandit	2022年
task.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
情報処理学会第84回全国大会講演論文集	07-1-07-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11309/ipsjjip.84.0_07	有
10.11000/190/1900	- F
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	四际六 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
	T . w
	│ 4.巻 │
1.著者名	_
1.者者台 Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H.	16
	_
	_
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題	5.発行年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H.	16
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task.	16 5.発行年 2022年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3 . 雑誌名	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task.	16 5.発行年 2022年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H.	16 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 16(3)
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H.	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H.	16 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 16(3)
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H.	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3.雑誌名	16 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 16(3) 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3.雑誌名	16 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 16(3) 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 846583
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10 . 3389/fnins . 2022 . 793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 846583
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3.雑誌名	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 846583
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2. 論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2. 論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.846583	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 846583 査読の有無 有
Tomyta, K., Katahira, K., & Ohira, H. 2.論文標題 Effects of interoceptive accuracy on timing control in the synchronization tapping task. 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.793461 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Uraguchi, M., Maulina, V. V. R., & Ohira, H. 2.論文標題 Interoceptive accuracy correlates with precision of time perception in the millisecond range 3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience	16 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 793461 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(3) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 846583

	4 24
1 . 著者名	4 . 巻
Maulina, V. V. R., Yogo, M., & Ohira, H.	13
2 *A-LIEUX	F 38/- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
Somatic Symptoms: Association Among Affective State, Subjective Body Perception, and Spiritual	2022年
Belief in Japan and Indonesia	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	829183
	020.00
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2022.829183	有
10.0000/1poyg.2022.020100	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
	I.
1 . 著者名	4 . 巻
———————————————————————————————————————	_
Zheng Wanwan, Jin Mingzhe	9.5
2 禁止無時	F 翌4二年
2.論文標題	5.発行年
Is word length inaccurate for authorship attribution?	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Digital Scholarship in the Humanities	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/IIc/fgac067	有
·	1
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
3 3 3 3 5 5 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7	
1 . 著者名	4 . 巻
Zheng Wanwan、 Jin Mingzhe	15
zieng wanwan, 3111 wingzie	13
2 . 論文標題	F 整仁左
	5.発行年
A review on authorship attribution in text mining	2022年
0. 1844 (7.	C = 17 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
WIREs Computational Statistics	-
	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/wics.1584	査読の有無 有
10.1002/wics.1584	有
10.1002/wics.1584 オープンアクセス	
10.1002/wics.1584	有
10.1002/wics.1584 オープンアクセス	有
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有
10.1002/wics.1584 オープンアクセス	有 国際共著 -
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳, 金 明哲	有 国際共著 - 4.巻 11(1)
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳, 金 明哲 2.論文標題	有 国際共著 - 4.巻 11(1) 5.発行年
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳, 金 明哲	有 国際共著 - 4.巻 11(1)
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳,金 明哲 2.論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析	有 国際共著 - 4.巻 11(1) 5.発行年 2022年
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 柳 燁佳,金 明哲 2 . 論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳,金 明哲 2.論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析	有 国際共著 - 4.巻 11(1) 5.発行年 2022年
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 柳 燁佳,金 明哲 2 . 論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 柳 燁佳,金 明哲 2 . 論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1-14
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 柳 燁佳,金 明哲 2.論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3.雑誌名 データ分析の理論と応用 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1-14
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1-14
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 柳 燁佳, 金 明哲 2 . 論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1-14 査読の有無
10.1002/wics.1584 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 柳 燁佳,金 明哲 2 . 論文標題 異ジャンル文章が混在した場合における著者識別分析 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 11(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1-14

1.著者名	4 . 巻
中川拓哉	6
न/गायम्प	· ·
2.論文標題	5 . 発行年
「文学者としての従軍報告 岸田國士『北支物情』・『従軍五十日』から 」	2023年
人,自己也是少是干扰自一种面面工,他又的情况,是十五十百万万	2020
0. 1841.6	6 8471 8 46 5
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
名古屋大学人文学研究論集	155-174
	100 17 1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
4 0	
	C Shire I I at the
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
	T
1.著者名	4 . 巻
葉柳和則	38
*1771473	
A A A TOTAL	- 70 (- (-
2.論文標題	5 . 発行年
全体主義に抗する全体主義? -オーストリア併合前夜におけるフィリップ・エッターの社会-文化構想	2022年
エロースにかりのエローな・ 3 ハーフ・バロの以上のログフェフラフ エファ ツロム・入口時心	
2 404.6	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
独文学報	29-50
「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
4.0	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
7 7777 (27. 60) (27. 60)	
1.著者名	4 . 巻
—	_
1.著者名 山本哲也、山下裕子	4 . 巻 30(2)
山本哲也、山下裕子	30 (2)
—	_
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題	30(2)
山本哲也、山下裕子	30 (2)
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア	5 . 発行年 2023年
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題	30(2)
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2023年
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア	5 . 発行年 2023年
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2023年
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究	30(2) 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 -
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究	30(2) 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 -
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 -
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究	30(2) 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 -
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
 山本哲也、山下裕子 2 .論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 .雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2 .論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 .雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2 .論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 .雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
 山本哲也、山下裕子 2 .論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 .雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 .著者名 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2 .論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 .雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子2.論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア3.雑誌名 産業ストレス研究掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
 山本哲也、山下裕子 2.論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3.雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2.論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3.雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2.論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3.雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 3871~3871
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 3871~3871
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 3871~3871
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセス 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - -
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20053871 	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 3871~3871 査読の有無 有
 山本哲也、山下裕子 2 . 論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアパターを活用したメンタルヘルスケア 3 . 雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2 . 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan 3 . 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .3390/ijerph20053871 オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - -
 山本哲也、山下裕子 2.論文標題 パーチャルリアリティの臨床応用:仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア 3.雑誌名 産業ストレス研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	30(2) 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 3871~3871 査読の有無 有

1.著者名	4.巻
Takai Shigeyuki、Hasegawa Akira、Shigematsu Jun、Yamamoto Tetsuya	1-13
2.論文標題 Do people who highly value happiness tend to ruminate?	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Current Psychology	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12144-022-04131-6	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Machado Sergio、Teixeira Diogo、Monteiro Diogo、Imperatori Claudio、Murillo-Rodriguez Eric、da Silva Rocha Fernanda Pereira、Yamamoto Tetsuya、Amatriain-Fernandez Sandra、Budde Henning、 Carta Mauro Giovanni、Caixeta Leonardo、de Sa Filho Alberto Souza	4.巻 22
2 . 論文標題 Clinical applications of exercise in Parkinson's disease: what we need to know?	5 . 発行年 2022年
3 . 雑誌名 Expert Review of Neurotherapeutics	6 . 最初と最後の頁 771~780
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14737175.2022.2128768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Ramella-Zampa Benedetta、Carbone Giuseppe Alessio、Panno Angelo、Santos Matheus、Imperatori Claudio、Budde Henning、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Machado Sergio	4.巻
2.論文標題 Understanding and conceptualizing eSports among behavioural addictions: A brief overview of the literature.	5 . 発行年 2022年
3 . 雑誌名 Emerging Trends in Drugs, Addictions, and Health	6.最初と最後の頁 100048~100048
喝載論文のD0Ⅰ(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.etdah.2022.100048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Yamashita Yuko、Yamamoto Tetsuya	4 . 巻
2.論文標題 Virtual Reality Heals My Reality: The Effect of Virtual Reality Self-Counseling with the Intimate Other Avatar	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 PsyArXiv	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.31234/osf.io/fcda8	 査読の有無 有
t − プンアクセス	国際共著

1 . 書書名 Massull Co Chiara、Bersani Francesco Saverio、Carbone Giuseppe Alessio, Panno Angelo, Farina Benedetto, Muril Io-Rodriguez Eric, Yananoto Tetsuya, Machado Sergio, Budde Henning, Imperatori Claudio 2 . 論文柱器 Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLORETA Study 3 . 相応名 Neuropsychobiology 6 . 最初と最後の頁 286-295 Mamay Concil (デジタルオプジェクト議例子) 10.1159/000521565 7 . オープンアクセス 7 . オープンアクセス 7 . オープンアクセス 8 . 最初に 1 . 著名 1 . 著名 2 . 論文程理 Prelifinary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students 3 . 機能音 3 . Jurnal of Rational-Encive Assets (Capitive-Behavior Therapy 1 . 著名 3 . オープンアクセス 1 . 著名 3 . オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名 3 . オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名 3 . M談名 8 .		
Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLDRETA Study 6. 最初と厳俊の頁 286-295 286-295	Massullo Chiara, Bersani Francesco Saverio, Carbone Giuseppe Alessio, Panno Angelo, Farina Benedetto, Murillo-Rodriguez Eric, Yamamoto Tetsuya, Machado Sergio, Budde Henning, Imperatori	_
Regimix constitution American State American Stat	Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with	
10.1159/000521565 有		
1. 著者名		_
Hasegawa Akira, Oura Shin-ichi, Yanamoto Tetsuya, Kunisato Yoshihiko, Fukui Yoshikazu 1-23 - 論文相題 Praliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students		国際共著
Hasegawa Akira, Oura Shin-ichi, Yanamoto Tetsuya, Kunisato Yoshihiko, Fukui Yoshikazu 1-23 - 論文相題 Praliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students		
Preliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students 3 . 雑誌名 Journal of Rational-Emotive & Department of Rational - Emotive & Department of Rational - Em		_
Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy - 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子)	Preliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent	
10.1007/s10942-022-00469-9 有	** ** * *	6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10.1007/s10942-022-00469-9	
Yanamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Sugaya Nagisa、Murillo-Rodriguez Eric、Machado Sergio、Imperatori Claudio、Budde Henning 12 2 . 論文標題 Mental health and social isolation under repeated mild lockdowns in Japan 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 Scientific Reports 6 . 最初と最後の頁 8452:1-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-12420-0 童誌の有無 有 オープンアクセス		国際共著
Mental health and social isolation under repeated mild lockdowns in Japan 2022年 3. 雑誌名 Scientific Reports 6.最初と最後の頁 8452:1-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-12420-0 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 長機力 1. 著者名 横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也 4.巻 48 2. 論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題 5.発行年 2022年 3. 雑誌名 認知行動療法研究 6.最初と最後の頁 135-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/jjbct.20-043 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Sugaya Nagisa、Murillo-Rodriguez Eric、Machado	_
Scientific Reports 8452:1-11 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-12420-0 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也 4.巻 48 2.論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題 5.発行年 2022年 3.雑誌名 認知行動療法研究 6.最初と最後の頁 135-144 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/j jbct.20-043 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1038/s41598-022-12420-0有オープンアクセス国際共著1.著者名 横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也4.巻 482.論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題5.発行年 2022年3.雑誌名 認知行動療法研究6.最初と最後の頁 135-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/jjbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也4 . 巻 482 . 論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題5 . 発行年 2022年3 . 雑誌名 認知行動療法研究6 . 最初と最後の頁 135-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/jjbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也482.論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題5.発行年 2022年3.雑誌名 認知行動療法研究6.最初と最後の頁 135-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/j jbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		国際共著
横光 健吾、高階 光梨、山本 哲也482.論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題5.発行年 2022年3.雑誌名 認知行動療法研究6.最初と最後の頁 135-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/j jbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
遠隔心理支援における認知行動療法実践の基礎と課題2022年3.雑誌名 認知行動療法研究6.最初と最後の頁 135-144掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/j jbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
認知行動療法研究135-144掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24468/j jbct.20-043査読の有無 有オープンアクセス国際共著		2022年
10.24468/j jbct.20-043 有 オープンアクセス 国際共著		
	10.24468/jjbct.20-043	有
		国際共著

1.著者名	4.巻
Shinya SHIGEMI	4 . 仓
эннуа энцевит	-
2.論文標題	F 38/2/F
	5.発行年
L'Aspect humaniste dans les Mots et les choses de Michel Foucault autour du schema du	2022年
quadrilatere classique	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Les defis de l'humanisme litteraire, sous la direction de Huguette KRIEF	225-235
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カーブラックとかとはない、大はカーブブックとハが四無	-
1 节业仅	4 . 巻
1. 著者名	_
重見一晋也	40
2 . 論文標題	5 . 発行年
「サドの読者フーコー」	2021年
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
『広島大学フランス文学研究』	41-59
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左征
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
葉柳和則	8
*1711473	, and the second
2 . 論文標題	5.発行年
·····	J . Æ11+
	0000/
ファシズムとは違うかたちで:教皇の社会教説とフィリップ・エッターの思想	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科)	6 . 最初と最後の頁 183-204
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科)	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科)	6 . 最初と最後の頁 183-204
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 葉柳和則	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37
3.雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 葉柳和則	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年
 3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名 独文学報(大阪大学ドイツ文学会)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 27-49
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名 独文学報(大阪大学ドイツ文学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 27-49
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名 独文学報(大阪大学ドイツ文学会)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 27-49
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名 独文学報(大阪大学ドイツ文学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 27-49
3 . 雑誌名 多文化社会研究(長崎大学多文化社会学研究科) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 葉柳和則 2 . 論文標題 カトリック保守主義と精神的国土防衛:スイスの親ナチ運動へのフィリップ・エッターの対応を軸に 3 . 雑誌名 独文学報(大阪大学ドイツ文学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 183-204 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36/37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 27-49

2. 前又標題		. "
2 . 論文標題 A review on authorship attribution in text mining 3 . 雑誌を (1.6 最初と最後の頁 の	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文模題 A review on authorship attribution in text mining 3 . 雑誌名	Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	0
A review on authorship attribution in text mining 3 . 利証名 (6 . 最初と最後の頁 の		
A review on authorship attribution in text mining 3 . 利証名 (6 . 最初と最後の頁 の	2 論文種類	5 発行任
3. 輔誌名 NIREs Computational Statistics		
WIRES Computational Statistics 0	A review on authorship attribution in text mining	2022年
WIRES Computational Statistics 0		
機能論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) (10.1002/wics.1584	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
機能論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) (10.1002/wics.1584	WIREs Computational Statistics	0
### 1.100.1002/wics.1584 ### ### ### #### ###################	WINES COMPUTATIONAL CHARTSTICS	
### 1.100.1002/wics.1584 ### ### ### #### ###################		
### 1.100.1002/wics.1584 ### ### ### #### ###################		
国際共著	掲載論文のDOI(テシタルオフシェクト識別子)	
国際共著	10.1002/wics.1584	#
1 . 著名名 2 . 記文標題 2 . 記文書 2 . 記述書 2 . 記述書	10.000	~
1 . 著名名 2 . 記文標題 2 . 記文書 2 . 記述書 2 . 記述書	ナープンマクセフ	国際 井茎
1. 著者名 Zheng Warwan, Jin Mingzhe 2. 論文標題		
2 1	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスか困難	-
2 1		
Zheng Wanwan, Jin Mingzhe 0 2 1	1 . 著者名	4
2 . 論文標題		_
Improving the Performance of Feature Selection Methods with Low-Sample-Size Data 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	zneng wanwan, Jin wingzne	0
Improving the Performance of Feature Selection Methods with Low-Sample-Size Data 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
Improving the Performance of Feature Selection Methods with Low-Sample-Size Data 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	2 . 論文標題	5.発行年
1		
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	imploying the retrormance of reature defection methods with Low-dampie-Size Data	2022 **
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	0. 1844.5	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093 / comjn1/bxac033 無無 無	3.雜誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 直読の有無 無	The Computer Journal	0
# 10.1093/comjnI/bxac033 無	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-
### 10.1093/comjnI/bxac033 無		
# 10.1093/comjnI/bxac033 無	4月キシムナのDOL / デンドカリ・ナーデンド・カー・地口フン	本はの大畑
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 李広微、金明哲. 4.巻 0 2. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 計量国語学 6.最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス としている(また、その予定である) 国際共著 10 1. 著者名 許 麗梦、金 明哲 4.巻 10 2. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 2. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 2. 論文標題 対象に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 3. 雑誌名 データ分析の理論と応用 45-57 6.最初と最後の頁 45-57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		宜読の有無
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 李広微、金明哲. 4. 巻 0 2. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 計量国語学 6. 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス としている(また、その予定である) 国際共著 10 1. 著者名 許 麗梦、金 明哲 4. 巻 10 2. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 データ分析の理論と応用 6. 最初と最後の頁 45-57 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	10.1093/comjnI/bxac033	無
オーブンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 李広微、金明哲. 4.巻 0 2.論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5.発行年 2021年 3.雑誌名 計量国語学 6.最初と最後の頁 180-181 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 許 麗梦、金 明哲 4.巻 10 2.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5.発行年 2021年 3.雑誌名 データ分析の理論と応用 6.最初と最後の頁 45-57 掲載論文の0001(デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
オーブンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 李広微、金明哲. 4.巻 0 2. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 計量国語学 6.最初と最後の頁 180-181 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 10 2. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 データ分析の理論と応用 6.最初と最後の頁 45~57 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 李広微、金明哲. 4 . 巻 0 2 . 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 計量国語学 6 . 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45 - 57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
李広微、金明哲.02. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 計量国語学6. 最初と最後の頁 180-181掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 計 麗梦、金 明哲4. 巻 101. 著者名 許 麗梦、金 明哲4. 巻 102. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 データ分析の理論と応用6. 最初と最後の頁 45-57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
李広微、金明哲.02. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 計量国語学6. 最初と最後の頁 180-181掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 計 麗梦、金 明哲4. 巻 101. 著者名 許 麗梦、金 明哲4. 巻 102. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 データ分析の理論と応用6. 最初と最後の頁 45-57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
李広微、金明哲.02. 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 計量国語学6. 最初と最後の頁 180-181掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 計 麗梦、金 明哲4. 巻 101. 著者名 許 麗梦、金 明哲4. 巻 102. 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5. 発行年 2021年3. 雑誌名 データ分析の理論と応用6. 最初と最後の頁 45-57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1.著者名	4.巻
2 . 論文標題 現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 計量国語学 6 . 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 10 1 . 著者名 許 顧梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45 - 57 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	李広微 全阳哲	0
現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 2021年 3 . 雑誌名 計量国語学 6 . 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 大ープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45~57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bda]cs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		, and the second
現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析 2021年 3 . 雑誌名 計量国語学 6 . 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 10 1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45~57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bda]cs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	o +0-LIFE	F 78.7= F
3 . 雑誌名 計量国語学 6 . 最初と最後の頁 180-181 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45~57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
計量国語学	現代小説の文末表現における通時変化の統計モデリングと分析	2021年
計量国語学		
計量国語学	2	6 是初と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 本ープンアクセス 国際共著		
なし有オープンアクセス国際共著1.著者名 許麗梦、金明哲4.巻 102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	計重国語子	180-181
なし有オープンアクセスとしている(また、その予定である)国際共著1.著者名 許 麗梦、金 明哲4.巻 102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
なし有オープンアクセスとしている(また、その予定である)国際共著1.著者名 許 麗梦、金 明哲4.巻 102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
なし有オープンアクセス国際共著1.著者名 許麗梦、金明哲4.巻 102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス国際共著1 . 著者名 		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲4 . 巻 102 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用6 . 最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	७ ∪	1
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲4 . 巻 102 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用6 . 最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		The state of the s
1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45~57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		国際共著
1 . 著者名 許 麗梦、金 明哲 4 . 巻 10 2 . 論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 データ分析の理論と応用 6 . 最初と最後の頁 45~57 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
許 麗梦、金 明哲102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		ı
許 麗梦、金 明哲102.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	4 7 7 7	
2.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
2.論文標題 財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析5.発行年 2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	許 麗梦、金 明哲	10
財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
財務に関する数値データ及びテクストデータを用いた企業倒産の判別分析2021年3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	2 绘文極暗	5 発行任
3.雑誌名 データ分析の理論と応用6.最初と最後の頁 45~57掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
データ分析の理論と応用45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdajcs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	射務に関する奴値ナーダ及ひナクストナータを用いた企業倒産の判別分析	2021年
データ分析の理論と応用45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdaj cs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
データ分析の理論と応用45~57掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32146/bdaj cs.10.45査読の有無 有オープンアクセス国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
10.32146/bdajcs.10.45 有 オープンアクセス 国際共著		40 - 01
10.32146/bdajcs.10.45 有 オープンアクセス 国際共著		
10.32146/bdajcs.10.45 有 オープンアクセス 国際共著		
10.32146/bdajcs.10.45 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
	10.02140/Duajus.10.40	ei.
		C Obt 11 ***
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	オーフンアクセス	国際共業
		国际六石
	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

	4 . 巻
LI Guangwei、 JIN Mingzhe	31
2 . 論文標題	5.発行年
Modeling Analysis of Diachronic Changes in Auxiliary Words in Novels	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Joho Chishiki Gakkaishi	371~383
JUNU CHISHIKI GARRATSHI	371 - 363
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2964/jsik_2021_019	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T
1 . 著者名	4 . 巻
Y. CHEN, W. ZHENG, M. JIN	62(3)
2.論文標題	5.発行年
The Effectiveness of the Maximal Information Coefficients in Real-World Classification Tasks	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
THE HARRIS SCIENCE REVIEW OF DOSHISHA UNIVERSITY	149-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Tamura Kaho、Kobayashi Yoshinari、Ohira Hideki	12
Tamara Harrot 1000yashi 100mma 11 0mma mashi	
2 . 論文標題	5.発行年
Interoceptive Accuracy Did Not Affect Moral Decision-Making, but Affect Regret Rating for One'	2022年
s Moral Choices	こ 目知に目然の百
3.雑誌名 Frontions in Povehology	6.最初と最後の頁 746897
Frontiers in Psychology	740097
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2021.746897	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
Maulina Venie Viktoria Rondang、Yogo Masao、Ohira Hideki	13
2.論文標題	5.発行年
Z. 調义标题 Somatic Symptoms: Association Among Affective State, Subjective Body Perception, and Spiritual	2022年
Belief in Japan and Indonesia 3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Belief in Japan and Indonesia	6.最初と最後の頁 851888
Belief in Japan and Indonesia 3.雑誌名	
Belief in Japan and Indonesia 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	851888
Belief in Japan and Indonesia 3.雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	851888 査読の有無
Belief in Japan and Indonesia 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	851888
Belief in Japan and Indonesia 3.雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	851888 査読の有無

. # # 4	
1 . 著者名	4 . 巻
Oba Takeyuki, Katahira Kentaro, Ohira Hideki	11
AA A IEDT	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5.発行年
A learning mechanism shaping risk preferences and a preliminary test of its relationship with	2021年
psychopathic traits	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	20853
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-021-00358-8	有
10.1000/04/1000 021 00000 0	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
3 7777 EXCOUNT (876, 1007)	1
1 . 著者名	4 . 巻
	4 · 공 40
大平英樹	40
3	r 35/=/=
2 . 論文標題	5.発行年
内臓感覚に基づく感情科学とロボットの設計	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本ロボット学会誌	10-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
	1
1 . 著者名	4 . 巻
大平英樹	64
八十六個	04
2.論文標題	5.発行年
	2021年
予測する脳の機能調整:マインドフルネスの効果 藤野 , 高橋・荻島 , 牟田・木甲斐論文へのコメント	2021年
3 A#÷+ 47	く 目知に目然の古
	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 心理学評論	6.最初と最後の頁 344-353
心理学評論	344-353
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	344-353 査読の有無
	344-353
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	344-353 査読の有無 無
心理学評論 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	344-353 査読の有無
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	344-353 査読の有無 無
心理学評論 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	344-353 査読の有無 無
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	344-353 査読の有無 無
心理学評論 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	344-353 査読の有無 無 国際共著
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	344-353 査読の有無 無 国際共著 -
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22 5 . 発行年
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan	344-353 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名	344-353 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan	344-353 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名 Brain, Behavior, & Immunity - Health	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 100448~100448
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名 Brain, Behavior, & amp; Immunity - Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	344-353 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 100448 ~ 100448 査読の有無
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名	344-353 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 100448~100448
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名 Brain, Behavior, & amp; Immunity - Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbih.2022.100448	344-353 査読の有無 国際共著 4.巻 22 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 100448 ~ 100448 査読の有無 有
心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa 2 . 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan 3 . 雑誌名 Brain, Behavior, & amp; Immunity - Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	344-353 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 22 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 100448 ~ 100448 査読の有無

	4 . 巻
Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	8
2. 論文標題 The Transition of Social Isolation and Related Psychological Factors in 2 Mild Lockdown Periods During the COVID-19 Pandemic in Japan: Longitudinal Survey Study	
3.雑誌名 JMIR Public Health and Surveillance	6 . 最初と最後の頁 e32694~e32694
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/32694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 国里愛彦,山本哲也	4.巻 64
2.論文標題 マインドフルネス研究の未来を切り開く新たな方法論	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 心理学評論	6.最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
	. w
1 . 著者名 Hasegawa Akira、Oura Shin-ichi、Yamamoto Tetsuya、Kunisato Yoshihiko、Matsuda Yuko、Adachi Masaki	4. 巻 2
2.論文標題 Causes and consequences of stress generation: Longitudinal associations of negative events, aggressive behaviors, rumination, and depressive symptoms	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 Current Psychology	6.最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12144-022-02859-9	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Massullo Chiara、Bersani Francesco Saverio、Carbone Giuseppe Alessio、Panno Angelo、Farina Benedetto、Murillo-Rodr?guez Eric、Yamamoto Tetsuya、Machado S?rgio、Budde Henning、Imperatori Claudio	4 . 巻 2
2.論文標題 Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLORETA Study	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 Neuropsychobiology	6.最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000521565	 査読の有無 有
オーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1.著者名	4 . 巻
横光健吾,高階光梨,山本哲也	0
ixocen, ininos, arino	
2 - 50-4-1-115	F 整件
2 . 論文標題	5 . 発行年
遠隔心理支援における認知行動療法の基礎と課題	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁

認知行動療法研究	0
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
& O	H H
1 -01.	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
—	_
山本 哲也、吉本 潤一郎	48
2 . 論文標題	5 . 発行年
機械学習アプローチの臨床応用?デジタル革新がもたらすメンタルヘルスケアの新たな形?	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
認知行動療法研究	23 ~ 33
1 - 1 N ASSAULTE 1 - 1 PRODUCE 1 PRODUCE 1	20 00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24468/jjbct.20-040	有
.6.2.1667, 1,261.126	13
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
淺川凌,山本哲也	29
淺川凌,山本哲也 2.論文標題	5.発行年
2.論文標題	5.発行年
2 . 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040	5 . 発行年 2021年
2. 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3. 雑誌名	5.発行年
2 . 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040	5 . 発行年 2021年
2. 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3. 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3. 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96
 2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96
 2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3 . 雑誌名 淺川凌, 山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318
2. 論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3. 雑誌名 淺川凌, 山本哲也 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1. 著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2. 論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182413318	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌、山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318
2.論文標題 org/10.24468/jjbct.20-040 3.雑誌名 淺川凌,山本哲也 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa 2.論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey 3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182413318	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 85-96 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 13318~13318

1.著者名 Yamashita Yuko、Yamamoto Tetsuya	4.巻 12
2.論文標題 Perceiving Positive Facial Expression Can Relieve Depressive Moods: The Effect of Emotional Contagion on Mood in People With Subthreshold Depression	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Psychology	6.最初と最後の頁 535980:1-9
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2021.535980	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Murillo Rodr?guez Eric、Arankowsky Sandoval Gloria、Budde Henning、Imperatori Claudio、 Machado S?rgio、Yamamoto Tetsuya、Yadollahpour Ali、Torterolo Pablo	4.巻 54
2.論文標題 In vivo brain levels of acetylcholine and 5 hydroxytryptamine after oleoylethanolamide or palmitoylethanolamide administrations are mediated by PPAR engagement	5.発行年 2021年
3.雑誌名 European Journal of Neuroscience	6.最初と最後の頁 5932~5950
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.15409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名 Coronado-?Ivarez Astrid、Romero-Cordero Karen、Mac?as-Triana Lorena、Tatum-Kuri Agnes、Vera-Barr?n Alba、Budde Henning、Machado S?rgio、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Murillo-Rodr?guez Eric	4.巻 110
2 . 論文標題 The synthetic CB1 cannabinoid receptor selective agonists: Putative medical uses and their legalization	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry	6.最初と最後の頁 110301~110301
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2021.110301	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名 Murillo-Rodr?guez Eric、Mill?n-Aldaco Diana、Arankowsky-Sandoval Gloria、Yamamoto Tetsuya、 Pertwee Roger G.、Parker Linda、Mechoulam Raphael	4.巻
2. 論文標題 Assessing the treatment of cannabidiolic acid methyl ester: a stable synthetic analogue of cannabidiolic acid on c-Fos and NeuN expression in the hypothalamus of rats	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Journal of Cannabis Research	6.最初と最後の頁 31:1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s42238-021-00081-1	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	·

1.著者名 Sugaya Nagisa、Yamamoto Tetsuya、Suzuki Naho、Uchiumi Chigusa	4.巻
2.論文標題 Social isolation and its psychosocial factors in mild lockdown for the COVID-19 pandemic: a cross-sectional survey of the Japanese population	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 BMJ Open	6.最初と最後の頁 e048380~e048380
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-048380	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	四际六有 -
1. VVV V EXICO CVID (COICE COVID COVID)	
1 . 著者名 Hasegawa Akira、Matsumoto Noboru、Yamashita Yuko、Tanaka Keisuke、Kawaguchi Jun、Yamamoto Tetsuya	4.巻 86
2.論文標題 Correction to: Response inhibition deficits are positively associated with trait rumination, but attentional inhibition deficits are not: aggressive behaviors and interpersonal stressors as mediators	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Psychological Research	858-870,
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1007/s00426-021-01582-7	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名 Quiroga Carla、Barberena Juan Jos?、Alcaraz-Silva Jocelyne、Machado S?rgio、Imperatori Claudio、Yadollahpour Ali、Budde Henning、Yamamoto Tetsuya、Telles-Correia Diogo、Murillo- Rodr?guez Eric	4.巻 21
2. 論文標題 The Role of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor in Addiction: A Novel Drug Target	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Current Topics in Medicinal Chemistry	6.最初と最後の頁 964~975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1568026621666210521165532	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	 国際共著 該当する
1 . 著者名 Suzuki Naho、Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Sugaya Nagisa	4. 巻 18
2.論文標題 Effects of Interoceptive Sensibility on Mental Health during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6.最初と最後の頁 4616~4616
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18094616	 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

. ***	. 24
1 . 著者名	4.巻
中村 靖子	5
2.論文標題	5.発行年
感情を創成する文学と歴史	2020年
窓間を創成する・・大子と歴文・・	20204
1041.6	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
エモーション・スタディーズ	74 ~ 84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.20797/ems.5.1_74	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
7 7777 EXCUCING (\$7., COTTLE COG)	
	T
1.著者名	4.巻
Ohira Hideki	29
	-
2 5公分+面目	- 整仁生
2.論文標題	5 . 発行年
Predictive Processing ofInteroception, Decision-Making, and Allostasis	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Psihologijske teme	1 ~ 16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.31820/pt.29.1.1	有
10.31020/pt.29.1.1	H H
+	京 柳 井 茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	•
1	1
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 大平 英樹	4.巻
大平 英樹	5
	_
大平 英樹 2 . 論文標題	5 . 発行年
大平 英樹	5
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成	5 5.発行年 2020年
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名	5 . 発行年
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成	5 5.発行年 2020年
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有
大平 英樹2.論文標題 文化と歴史における感情の共構成3.雑誌名 エモーション・スタディーズ掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉 2. 論文標題	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉 2. 論文標題	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉 2. 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能??	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
大平 英樹2.論文標題 文化と歴史における感情の共構成3.雑誌名 エモーション・スタディーズ掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 中川 拓哉2.論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能??	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉 2. 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中川 拓哉 2 . 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94 査読の有無
大平 英樹 2. 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中川 拓哉 2. 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中川 拓哉 2 . 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_85	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94 査読の有無 有
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス 1 . 著者名 中川 拓哉 2 . 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_85 オープンアクセス	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94 査読の有無
大平 英樹 2 . 論文標題 文化と歴史における感情の共構成 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_4 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中川 拓哉 2 . 論文標題 人はなぜ山に登るのかー20世紀の映画・文学作品におけるアルプスの機能?? 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_85	5 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 4~15 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 85~94 査読の有無 有

	1 . "
1.著者名	4 . 巻
大平英樹	20
2.論文標題	5 . 発行年
ソマティック・マーカー	2020年
	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
臨床心理学	249-253
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
•	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
大平英樹	63
7 () 2 () 2 ()	
2.論文標題	5.発行年
意味と感情の予測的処理:中山論文へのコメント	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
心理学評論	44+54
	_
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u>」</u> 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
1.著者名	4 . 巻
— * * * *	
大平 英樹	36
2.論文標題	5.発行年
感情と意思決定を創発する予測的処理	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人工知能	21 ~ 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11517/jjsai.36.1_21	有
· · · · · ·	
オープンアクセス	国際共著
	四
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Imai Kazunori, Masuda Michihito, Watanabe Hirohisa, Ogura Aya, Ohdake Reiko, Tanaka Yasuhiro,	7
	'
Kato Toshiyasu, Kawahata Kazuya, Riku Vuichi, Hara Kazuhiro, Nakamura Pyoichi, Atsuta Nacki	Ĭ
Kato Toshiyasu, Kawabata Kazuya, Riku Yuichi, Hara Kazuhiro, Nakamura Ryoichi, Atsuta Naoki,	
Kato Toshiyasu, Kawabata Kazuya, Riku Yuichi, Hara Kazuhiro, Nakamura Ryoichi, Atsuta Naoki, Bagarinao Epifanio, Katahira Kentaro, Ohira Hideki, Katsuno Masahisa, Sobue Gen	
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen	- 7%/- t-
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2.論文標題	5.発行年
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen	5.発行年 2020年
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2.論文標題	
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis	2020年
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis	2020年
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology	2020年 6 . 最初と最後の頁 2115~2126
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 2115~2126 査読の有無
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology	2020年 6 . 最初と最後の頁 2115~2126
Bagarinao Epifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acn3.51185	2020年 6.最初と最後の頁 2115~2126 査読の有無 有
Bagarinao Épifanio、Katahira Kentaro、Ohira Hideki、Katsuno Masahisa、Sobue Gen 2 . 論文標題 The neural network basis of altered decision making in patients with amyotrophic lateral sclerosis 3 . 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 2115~2126 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Yohsuke Ohtsubo, Masahiro Matsunaga, Toshiyuki Himichi, Kohta Suzuki, Eiji Shibata, Reiko Hori,	15
Tomohiro Umemura, Hideki Ohira	
	F 38/-/-
2 . 論文標題	5.発行年
Role of the Orbitofrontal Cortex in the Computation of Relationship Value	2020年
·	
	6.最初と最後の頁
Social Neuroscience	600-612
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/17470919.2020.1828164.	有 有
オープンアクセス	国際共著
	山冰八百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	32(8)
李 広微,金 明哲	J2(0)
│ 2.論文標題	5.発行年
『明暗』と『続明暗』のトピック変化の計量分析	2021年
ひょうし (
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
計量国語学	496-505
#1 = 	100 000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
sto in the state of the state o	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4.巻
1.著者名 [2]X. Liu, M. Jin	2
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	5 . 発行年
1.著者名 [2]X. Liu, M. Jin	2
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript	2 5.発行年 2021年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript	2 5.発行年 2021年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉, 金 明哲	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3)
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉, 金 明哲 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉, 金 明哲	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3)
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉,金 明哲 2 . 論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉,金 明哲 2 . 論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
1.著者名 [2]X. Liu, M. Jin2.論文標題 OUP accepted manuscript3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 [3]黄 善玉,金 明哲2.論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別3.雑誌名 情報知識学会誌	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
1.著者名 [2]X. Liu, M. Jin2.論文標題 OUP accepted manuscript3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 [3]黄 善玉,金 明哲2.論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別3.雑誌名 情報知識学会誌	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉, 金 明哲 2 . 論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別 3 . 雑誌名 情報知識学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400 査読の有無 無
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3]黄 善玉, 金 明哲 2 . 論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別 3 . 雑誌名 情報知識学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400
1 . 著者名 [2]X. Liu, M. Jin 2 . 論文標題 OUP accepted manuscript 3 . 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqab029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 [3] 黄 善玉, 金 明哲 2 . 論文標題 日本語における機能フレーズを特徴量とした著者識別 3 . 雑誌名 情報知識学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 qab029 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 30(3) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 390-400 査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
[4]柳 燁佳, 金 明哲	9(1)
2.論文標題	5.発行年
菊池寛「受難華」の代筆問題の研究	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
データ分析の理論と応用	1-11
	'-''
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
金明哲,鄭 弯弯	32(5)
표 ''', 다 , 뭐 '' 등등	02(0)
2 检查师语	- ※行生
2. 論文標題	5.発行年
テキストコーパスマイニングツールMTMineR	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
計量国語学	265-276
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	
40	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	1
2.論文標題	5.発行年
The Effects of Class Imbalance and Training Data Size on Classifier Learning: An Empirical	2020年
	20204
Study Study	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
SN Computer Science	1-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s42979-020-0074-0	有
12.102.102.102.00	[
オープンアクセス	国際共著
	四你不住
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Zheng Wanwan、Jin Mingzhe	35
2 . 論文標題	5.発行年
	2020年
I COMPATING MILITIPIA CATAGORIAS OT TAATURA SALACTION MATROGO TOT TOVE CLASSITICATION	2020 1
Comparing multiple categories of feature selection methods for text classification	
	6 早知と早後の西
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁 208-224
3.雑誌名	
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	208-224
3.雑誌名	
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	208-224 査読の有無
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	208-224
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqz003	208-224 査読の有無 有
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqz003 オープンアクセス	208-224 査読の有無
3.雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/IIc/fqz003	208-224 査読の有無 有

1. 著者名	4 . 巻
Eric Murillo-Rodriguez, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Tetsuya Yamamoto, Henning Budde	1297
2.論文標題	5 . 発行年
Natural Cannabinoids as Templates for Sleep Disturbances Treatments	2021年
3.雑誌名 Advances in Experimental Medicine and Biology	6.最初と最後の頁 133-141
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-3-030-61663-2_9	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名 Amatriain-Fern?ndez Sandra、Budde Henning、Gronwald Thomas、Quiroga Carla、Carre?n Cristina、Viana-Torre Gerardo、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Machado S?rgio、Murillo-Rodr?guez Eric	4.巻 19
2.論文標題 The Endocannabinoid System as Modulator of Exercise Benefits in Mental Health	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Current Neuropharmacology	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2174/1570159X19666201218112748	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4.巻
Tetsuya Yamamoto, Chigusa Uchiumi, Naho Suzuki, Junichiro Yoshimoto, Eric Murillo-Rodriguez	17(24)
2.論文標題 The Psychological Impact of 'Mild Lockdown' in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Environmental Research and Public Health	9382
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/ijerph17249382	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto, Diogo Monteiro, Henning Budde, Nuno Barbosa Rocha, Luis Cid, Diogo S. Teixeira, Diogo Telles-Correia, Andre Barciela Veras, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Pablo Torterolo	4.巻 4(2)
2.論文標題	5 . 発行年
Assessing the Management of Excessive Daytime Sleepiness by Napping Beneits	2020年
3.雑誌名 Sleep and Vigilance	6 . 最初と最後の頁 117-123
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著該当する

1.著者名 Nagisa Sugaya, Tetsuya Yamamoto, Naho Suzuki, Chigusa Uchiumi	4.巻 7
2.論文標題 A real-time survey on the psychological impact of mild lockdown for COVID-19 in the Japanese	5.発行年 2020年
population 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Data	372
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 S? Filho Alberto Souza、Miranda Thiago Gottgtroy、de Paula Carolina Cavalcante、Barsanulfo Silvio Roberto、Teixeira Diogo、Monteiro Diogo、Cid Luis、Imperatori Claudio、Yamamoto Tetsuya、Murillo-Rodriguez Eric、Amatriain Fern?ndez Sandra、Budde Henning、Machado Sergio	4.巻 11
2.論文標題 COVID-19 and Quarantine: Expanding Understanding of How to Stay Physically Active at Home	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Frontiers in Psychology	6.最初と最後の頁 566032
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.566032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Scartoni Fabiana Rodrigues、Sant'Ana Leandro de Oliveira、Murillo-Rodriguez Eric、Yamamoto Tetsuya、Imperatori Claudio、Budde Henning、Vianna Jeferson Macedo、Machado Sergio	4.巻
2.論文標題 Physical Exercise and Immune System in the Elderly: Implications and Importance in COVID-19 Pandemic Period	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Frontiers in Psychology	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.593903	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 17
Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric 2 . 論文標題 The Psychological Impact of 'Mild Lockdown' in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency	17 5.発行年 2020年
Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric 2 . 論文標題 The Psychological Impact of 'Mild Lockdown' in Japan during the COVID-19 Pandemic: A	5 . 発行年
Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric 2 . 論文標題 The Psychological Impact of 'Mild Lockdown' in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency 3 . 雑誌名	17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁

1 . 著者名 Hasegawa Akira、Matsumoto Noboru、Yamashita Yuko、Tanaka Keisuke、Kawaguchi Jun、Yamamoto	4.巻 62
Tetsuya	- 7%/- f-
2.論文標題 Do shorter inter stimulus intervals in the go/no go task enable better assessment of response inhibition?	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scandinavian Journal of Psychology	118 ~ 124
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1111/sjop.12679	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 S? Filho Alberto Souza、Cheniaux Elie、de Paula Carolina Cavalcante、Murillo-Rodriguez Eric、	4.巻 20
Teixeira Diogo, Monteiro Diogo, Cid Luis, Yamamoto Tetsuya, Telles-Correia Diogo, Imperatori Claudio, Budde Henning, Machado Sergio	20
2.論文標題	5 . 発行年
Exercise is medicine: a new perspective for health promotion in bipolar disorder	2020年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Expert Review of Neurotherapeutics	1099 ~ 1107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1080/14737175.2020.1807329	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Yamamoto Tetsuya、Uchiumi Chigusa、Suzuki Naho、Yoshimoto Junichiro、Murillo-Rodriguez Eric	2020.07.17
2.論文標題 The psychological impact of 'mild lockdown' in Japan during the COVID-19 pandemic: a nationwide survey under a declared state of emergency	5 . 発行年 2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
medRxiv	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1101/2020.07.17.20156125	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Machado Sergio, Monteiro Diogo, Mout?o Jo?o, Murillo-Rodriguez Eric, Yamamoto Tetsuya, Paes F1?via, Cid Luis, De Lima Jo?o Lucas Maciel	12(1)
2 . 論文標題	5 . 発行年
Physical Exercise and Geriatric Depression: An Opinion	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Revista Psicologia e Sa?de	115 ~ 126
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	 査読の有無
10.20435/pssa.v12i1.807	有
10.201007,90041712111007	
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 . 巻
重見晋也	39
	5 . 発行年
第2次世界大戦期フランス南部地域における検閲の現実 ローヌ県リヨン都市圏文書館収蔵の資料182W 147	2020年
について	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
広島大学フランス文学研究	36-54
仏画八子ノンノスス子明九	30-34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.15027/50741	有
オープンアクセス	国際共著
	自然八百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
中村靖子	3
נ אפע דיוו	j j
2 *A->-LEGE	5 38/= fz
2.論文標題	5 . 発行年
『マルテの手記』をテキストマイニングする! リルケ散文の計量的分析を用いた相補的研究の試み	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人文学研究論集	39、63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	重
<i>'</i> & ∪	***
	E Obs. LL deb
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 \$2.47	4 . 巻
1 . 著者名	
I.者有石 Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H.	9
	9
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題	5 . 発行年
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H.	9
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 .論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability	9 5.発行年 2019年
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 .論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability	9 5.発行年 2019年
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports,	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 9-19
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports,	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 9-19
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 -
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3.雑誌名 Social Neuroscience,	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2.論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3.雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2.論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention."	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2 . 論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3 . 雑誌名 Social Neuroscience,	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2. 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3. 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2. 論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3. 雑誌名 Social Neuroscience,	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 .論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 .雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 .著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2 .論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3 .雑誌名 Social Neuroscience, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17470919.2019.1697745	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255 査読の有無 有
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 . 論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 . 雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2 . 論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3 . 雑誌名 Social Neuroscience, 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17470919.2019.1697745	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255
Suga, A., Uraguchi, M., Tange, A., Ishikawa, H., & Ohira, H. 2 .論文標題 Cardiac interaction between mother and infant: enhancement of heart rate variability 3 .雑誌名 Scientific Reports, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-56204-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ohtsubo, Y., Matsunaga, M., Himichi, T., Suzuki, K., Shibata, E., Hori, R., Umemura, T., & Ohira, H 2 .論文標題 Costly group apology communicates a group's sincere "intention." 3 . 雑誌名 Social Neuroscience, 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17470919.2019.1697745	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 9-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 244-255 査読の有無 有

4	4 344
1 . 著者名	4.巻
Ohira, H	15
2	F 75%=/=
2 . 論文標題	5 . 発行年
Predictive processing of interoception, decision-making, and allostasis: A computational	2020年
framework and implications for emotional intelligence	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Psychological Topics,	1-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.31820/pt.29.1.1	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
	<u> </u>
1.著者名	4 . 巻
Liu, X., & Jin, M	47
Erw, Ar, w vin, m	
2 . 論文標題	5.発行年
	2020年
Classification analysis of Kouji Uno's novels using topic model	2020 年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Behaviormetrika	189-212
DOIGNIOTHOLITA	103-212
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	1 4 44
1 . 著者名	4.巻
入江さやか・金明哲	18
2.論文標題	5.発行年
コーパスを用いた仮定形音融合使用に関する計量的研究	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国立国語研究所 論集	1-16
 	本柱の左無
崎載舗又のDOT(テンダルオノシェクト識別子) なし	査読の有無
40	有
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 中川拓哉	国際共著 - 4 . 巻 3
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 中川拓哉 2.論文標題	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 中川拓哉	国際共著 - 4 . 巻 3
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 : 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉 3 . 雑誌名 人文学フォーラム	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉 3 . 雑誌名 人文学フォーラム	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 97-111
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中川拓哉 2 . 論文標題 「聖なる目標」の歴史的文脈 『国民の誓』に見る国際映画の終焉 3 . 雑誌名 人文学フォーラム 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 97-111 査読の有無
オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 97-111 査読の有無

〔学会発表〕 計83件(うち招待講演 32件/うち国際学会 18件)
1.発表者名 中村靖子
中们 项于
2.発表標題
「人間・社会・自然の来歴と未来:「人新世」における人間性の根本を問う」研究活動報告
3 . 学会等名 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業シンポジウム「未来社会を見据えた 人文学・社会科学分野における 学術知共創の課
議題設定による元等的人又子・社会科子研究推進事業シンホシウム・木木社会を兄指えた。人文子・社会科子力野にのける。子州和共創の議題について」(招待講演)
4. 発表年
2022年
1 . 発表者名
中村靖子
2 . 発表標題 未来の人文学
3. 学会等名
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業シンポジウム「未来社会を見据えた 人文学・社会科学分野における 学術知共創の課
題について」(招待講演) 4 . 発表年
2022年
1 改主 业 权
1.発表者名 池野絢子
2 . 発表標題
「変身の系譜-現代芸術にみる人間と動物のあいだ」
2. HATA
3.学会等名 シンポジウム「どこまでが動物なのか?:人文学から考える」、ヒトと動物の関係学会 第 29 回学術大会(招待講演)
4 . 発表年 2023年
2020—
1. 発表者名
加藤 樹里,長滝 祥司,大平 英樹,柏端 達也,金野 武司,柴田 正良,橋本 敬,三浦 俊彦
2 . 発表標題
道徳的行為者となり得る3条件をシナリオで操作したロボットに対する道徳的判断の検討
3.学会等名
2022年度日本認知科学会39回大会
4.発表年
2022年

1.発表者名
Hideki Ohira
2.発表標題
Emergence of emotion and decision-making based on predictive processing of interoception: Implications for emotional
intelligence
3.学会等名
International Conference on Emotional Intelligence 2022(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2022年
1.発表者名
Hideki Ohira
2 . 発表標題
Affective decision-making based on interoceptive predictive processing: Implications for clinical issues
3.学会等名
NTTR Webinar (online) (招待講演) (国際学会)
4.発表年
2022年
1. 発表者名
Hideki Ohira
2.発表標題
Predictive processing of interoception as a base of mentality: Implications for morality
3.学会等名
International Meeting on Robo-Ethics and Philosophy(招待講演)
4
4 . 発表年 2023年
4V4VT
1.発表者名
大平英樹
2 . 発表標題
内受容感覚と意思決定の関連とそれに伴うフィーリング
3.学会等名
生理学研究所社会認知科学研究会(招待講演)
4 . 発表年
2022年

1.発表者名
大平英樹
2.発表標題
自律神経と意思決定
3.学会等名 第75回日本自律神経学会総会(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 神田 泰誠,柳燁佳,金 明哲.
2.発表標題 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
著者推定における事前学習済みBERTを用いたアンサンブル学習法の提案
3.学会等名
信学技報(電子情報通信学会),
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
大脇 彩夏,金 明哲
会話コーパスを用いた性別による発話特徴の分析
日本行動計量学会第50回大会
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
・ 1 ・ 光衣 看 名 ・ 柳 燁佳 , 金 明哲
2 . 発表標題ジャンルにロバストな著者識別用特徴量 CA n-gram の提案
ション・ハー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 学会等名
日本行動計量学会第50回大会
4 . 発表年
2022年

1.発表者名
鄭 弯弯,金 明哲
2 . 発表標題 ※考書部において単語の長さの特度が低いたのか
著者識別において単語の長さの精度が低いなのか
3.学会等名
日本行動計量学会第50回大会
4.発表年
2022年
1.発表者名 神田泰誠,柳燁佳,金明哲.
1T以 水咖,17 /千庄,亚 仍口·
2.発表標題
著者推定における異なる事前学習データを持つ日本語版BERTの性能比較分析,
3 . 学会等名 日本行動計量学会第50回大会
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
李 広微, 金 明哲
2 . 発表標題 テキストアナリティクスに基づく小説『明暗』の続編に関する比較分析
THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
3.学会等名
日本行動計量学会第50回大会
4.発表年
2022年
1 改丰 2
1 . 発表者名 金 · 明哲
2 . 発表標題
Stylometryから連想する計量的表現研究
2
3.学会等名 表現学会第59回全国大会(招待講演)
4.発表年 2023年
2022年

1.発表者名 葉柳和則
2 . 発表標題
全体主義に抗する全体主義?-第二次世界大戦勃発期のスイスにおける社会構想
日本国際文化学会第21回全国大会
2022年
2.発表標題
AI・ICTを活用した行動科学と社会実装
行動科学学会 第38回ウィンターカンファレンス2023(招待講演)
2023年
1.発表者名
山本哲也
2 . 発表標題 ウェルビーイングの向上に寄与する人工知能技術と情報通信技術の活用
3.学会等名
SOMPOインスティチュート・プラス 未来アカデミー(招待講演)
4.発表年
2023年
1.発表者名
山本哲也
2.発表標題
2 . 光衣標題 デジタルマインドフルネス 瞑想の実践を支援するテクノロジーの活用
3 . 学会等名 日本マインドフルネス学会 第 9 回大会 シンポジウムロ「脳の変化からマインドフルネスを理解する」(招待講演)
ロー・ロンドフルイスチェ あっ凹八云 シフホンソムロ・脳の変化からメイフトフルイ人を理解する」(指付碼供)
4. 発表年 2023年
2023年

1.発表者名 山本哲也
2.発表標題
事例で学ぶ論文投稿と査読対応のABC
3.学会等名 日本健康心理学会第35回大会,日本健康心理学会機関誌編集委企画シンポジウム「論文投稿と審査過程における留意点 ー日本健康心理学
会における論文投稿に関する情報共有と活性化を目指して一」 4.発表年 2022年
1.発表者名 山本哲也,吉本潤一郎
2 . 発表標題 認知行動療法における機械学習アプローチ
3 . 学会等名 日本認知・行動療法学会第48回大会 ワークショップ(WS7) (招待講演)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 よりよく生きるための人工知能技術と情報通信技術の活用
3.学会等名 第6回行動科学セミナー(国立がん研究センターがん対策研究所)(招待講演)
4.発表年 2022年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 情報通信技術を活用した臨床心理学的アプローチの実際
3.学会等名 一般社団法人 公認心理師の会 2022年度年次総会(招待講演)
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 山本哲也
2 改士+無65
2 . 発表標題 人工知能技術と情報通信技術を活用した認知・感情・創造性の拡張
ハエ~Bicly Lil Cil Lix Mi Cil Lil Cil Cil Cil Cil Move
3.学会等名
3 . 子云寺石 日本心理学会第86回大会 , 大会公募シンポジウム「情報科学とロボット工学が拓く発達・知覚・臨床心理学の新たな学術領域」
4 . 発表年
2022年
1 . 発表者名
山本哲也
2.発表標題
成人の発達障害の理解と対応
3. 学会等名
精神科臨床薬学研究会(PCP)プロック講演会 in KINKI(招待講演)
A
4.発表年 2022年
2V22T
1.発表者名
SHIGEMI Shinya
2. 発表標題
Les lectures des oeuvres de Sade par Roland Barthes et par Michel Foucault
3.学会等名
Roland Barthes a l'ecoute du contemporain (国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名 池野絢子
/ 也丢了帮助 」
2
2 . 発表標題 「20世紀初頭のイタリア芸術における複数の時間経験」
3.学会等名
3 . 字伝寺名 「蜘蛛と箒」企画オンライン特別講座(招待講演)
4 . 発表年
2021年

The state of the s
1.発表者名 葉柳和則
2 . 発表標題 労働力を呼びよせたのに、やってくるのは人間だ: マックス・フリッシュにおける「異他的なもの」の排除
3.学会等名
日本独文学会西日本支部,第73回総会・研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 李 広微, 金 明哲.
 2 . 発表標題 現代小説における文末表現の通時変化についての計量分析
現代小説にありる又木衣現の連時変化についての計量が作
3 . 学会等名 行動計量学会第49回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 神田 泰誠,金明哲,鳥海不二夫
2.発表標題 Twitterにおける新型コロナ関連のトピックと感情変化の計量分析
3 . 学会等名 行動計量学会第49回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 耕三寺花蓮,金明哲
2 . 発表標題 定性的データ分析から見る点前の流派間の特徴
3.学会等名 行動計量学会第49回大会
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名
柳 燁佳,金 明哲
2 . 発表標題
品詞活用形情報に着目した日本語文章の著者推定
3.学会等名
行動計量学会第49回大会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
大平英樹
2 . 発表標題
内受容感覚の予測的処理に基づく感情と意思決定の創発ー遺伝要因と環境要因の寄与ー
3.学会等名
内受容感覚の予測的処理に基づく感情と意思決定の創発ー遺伝要因と環境要因の寄与ー(招待講演)
4. 発表年
2022年
1.発表者名
一、光衣有名 山本哲也
2.発表標題
コロナ禍に起因する自粛生活が心身の健康にもたらす影響 計4回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究
3 . 学会等名
慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター 第21回パネル調査カンファレンス(招待講演)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
山本哲也
2.発表標題
お茶で人生100年時代を豊かに生きる知恵 ~感染症時代のストレス対処術と"茶の効用"~
3 . 学会等名
伊藤園健康フォーラム(招待講演)
4 . 発表年 2021年
2021 †

1.発表者名 山本哲也
2. 文·主·本日本
2.発表標題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況で生じる希死念慮の予測因子の同定 ~計4回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究 ~
3.学会等名 第28回日本行動医学会学術総会(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 仮想世界における体験があなたの悩みを改善する VR 技術を活用したセルフカウンセリングの効果
3 . 学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2.発表標題 緊急事態宣言下における内受容感覚の鋭敏さの男女差が精神的健康に与える影響
3.学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に起因する反復的・持続的な自粛生活が心身の健康にもたらす影響 緊急事態宣言下に おける大規模オンライン縦断調査
3 . 学会等名 日本心理学会第85回大会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 抑制機能の2下位分類と反すうの関連 反応抑制と注意の抑制の比較
3 . 学会等名 日本心理学会第85回大会
4. 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2.発表標題 親密他者の視点取得を活用したVRセルフカウンセリングの効果
3 . 学会等名 日本心理学会第85回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 新型コロナウイルス感染症のパンデミック下における内受容感覚の鋭敏さが精神的健康に与える影響
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 テキストマイニングと機械学習の活用は文学作品の考察を深化させる
3.学会等名 日本心理学会第85回大会
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 山本哲也
ЩФов
2.発表標題
情報通信技術・人工知能技術の進歩と心理学
3.学会等名 日本心理学会第85回大会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
山本哲也
つ 改字価度
2.発表標題 Clinical Psychoinformatics Approaches for Improving Quality of Life(英語)
, and a second of the second o
3.学会等名
日米先端工学(JAFOE)シンポジウム(国際学会)
 4.発表年
2021年
山本哲也
2. 発表標題
A clinical psychoinformatics approach for detection of recurrence patterns in recovered depression(英語)
The 32nd International Congress of Psychology, Prague (国際学会)
4 . 発表年
1 . 発表者名 中川拓哉
中川314成
2.発表標題
アルプスをめぐる文化戦戦間期劇映画におけるアルプス表象のドイツ・スイス比較
The state of the s
3 . 学会等名 日本国際文化学会第20回全国大会、オンライン開催
4 . 発表年
2021年

1.発表者名 中川拓哉
2 . 発表標題 オリンピックと「国民」 映画『国民の誓』(1938)を例に」(共通論題「オリンピックと政治宣伝 1930 年代の事例を中心に
3 . 学会等名 日本国際文化学会第20回全国大会、オンライン開催
4 . 発表年
2021年
1 . 発表者名 Sazuka, N., Katsumata, K., Komoriya, Y., Ezaki, T., & Ohira, H.
2、艾士·梅昭
2 . 発表標題 Slow EEG fluctuation reflecting behavioral changes by cognitive load.
3.学会等名
3 .子云寺石 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
大平英樹
入十英國
2 . 発表標題
感情の合理性とその障害
3.学会等名
精神医学の哲学研究会(招待講演)
4. 発表年
2020年
1.発表者名
大平英樹
2.発表標題
内受容感覚の予測的処理と感情及び意思決定の創発
3.学会等名
電子情報技術産業協会第5回感性のセンシング・フィードバック技術分科会(招待講演)
4.発表年
2020年

1.発表者名
大平英樹
2.発表標題
内受容感覚と意味概念に基づく社会的感情の創発
第10回社会神経科学研究会(招待講演)
4 · 光农中 2020年
1 . 発表者名 大平英樹 大平英樹 大平英樹
内受容感覚と意味概念による高次感情の創発
3.学会等名
感情とAI 冬のワークショップ(招待講演)
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
大平英樹
2.発表標題 計算論的精神医学と内受容感覚
ロチ鳴UJ作Iで位すてPJ文音必免
」 3.学会等名
第20回日本認知療法学会・認知行動療法学会(招待講演)
4.発表年
2020年
1.発表者名 大平英樹
2.発表標題
脳・身体・心は常に動く
2
3.学会等名 日本生理心理学会(招待講演)
4.発表年 2020年
2020年

1 . 発表者名 Sazuka, N., Komoriya, Y., Ezaki, T., Oba, T., & Ohira, H.
2 . 発表標題 Human affective-states estimation by a model of meta-level patterns of EEG.
3 . 学会等名 2020 Annual conference of the Society for Affective Science(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Suga, A., Naruto, Y., Venie Viktoria Rondang Maulina, Uraguchi, M., Sasaki, T., Ozaki, Y., & Ohira, H.
2. 発表標題 Effects of increased interoceptive awareness on postpartum depression and emotional states: An experience sampling study using smartphone photoplethysmography.
3 . 学会等名 2020 Annual conference of the Society for Affective Science(国際学会)
4 . 発表年
2020年
2020年
2020年 1 . 発表者名 山本哲也
2020年 1.発表者名
2020年 1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題
2020年 1.発表者名 山本哲也 2.発表標題 機械学習の臨床応用ー心の脆弱性を理解するー 3.学会等名
2020年 1.発表者名 山本哲也 2.発表標題 機械学習の臨床応用ー心の脆弱性を理解するー 3.学会等名 徳島大学研究クラスターシンポジウム 脳・心・運動×機械学習・AI (国際学会) 4.発表年 2021年 1.発表者名 山本哲也
2020年 1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題 機械学習の臨床応用ー心の脆弱性を理解するー 3 . 学会等名 徳島大学研究クラスターシンポジウム 脳・心・運動×機械学習・AI (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題 情報通信技術を活用して心身の問題を解決する
2020年 1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題 機械学習の臨床応用 - 心の脆弱性を理解する - 3 . 学会等名 徳島大学研究クラスターシンポジウム 脳・心・運動×機械学習・AI (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題 情報通信技術を活用して心身の問題を解決する 3 . 学会等名 2020年度第12回脳科学クラスター・ミニリトリート
1 . 発表者名 山本哲也 2 . 発表標題 機械学習の臨床応用 - 心の脆弱性を理解する -

1 . 発表者名 山本哲也,内海千種,鈴木菜穂,菅谷渚,吉本潤一郎,Eric Murillo-Rodriguez
2 . 発表標題 緊急事態宣言下におけるメンタルヘルスの実態と危険因子・保護因子の解明
3 . 学会等名 第27回日本行動医学会学術総会抄録集
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 山本哲也
2.発表標題 情報技術を活用したwithコロナ時代の心理臨床実践
3.学会等名 日本心理学会第84回大会,大会公募シンポジウム
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 情報技術を活用した心性の可視化・予測・制御
3.学会等名 『予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-』研究集会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 山本哲也
2 . 発表標題 緊急事態宣言下における日本国民のメンタルヘルスの特徴
3.学会等名 「言説と情動」研究会
4.発表年 2020年

. 75.4.6
1 . 発表者名 山本哲也
ЩФов
2.発表標題
情動を可視化・予測する心理情報学的アプローチ
3.子云寺石 『言説を動かす情動とファシズムの変貌:テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析』第3回研究集会
ロルセガル・19ガビノノノハムの交流・ノーハー・ハー・ファに60流に10日の具作が作者カリロ別九米云
2020年
1.発表者名
山本哲也
2.発表標題
機械学習アプローチ
う・テムサロ 日本認知・行動療法学会第46回大会,自主企画シンポジウム「認知行動療法研究の新時代を切り開く研究法」
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
山本哲也
2. 化主体压
2.発表標題 初れ行動を決しましまる心理様和労物では、その民間
認知行動療法に寄与する心理情報学的アプローチの展開
3.学会等名
日本認知・行動療法学会第46回大会,自主企画シンポジウム「臨床心理情報学 臨床実践と研究に活かす情報技術 」
4.発表年
2020年
1.発表者名
W. Zheng and M. Jin
2.光衣標題 A fast class noise detector with multi-factor-based learning"
A 1431 O1433 HO136 GELECTOL WITH HIGHT-TACTOL-DASEG TEATHING
3.学会等名
9th International Conference on Computational Data and Social Networks(国際学会)
4.発表年
2020年

1. 発表者名
一 池野絢子 ·
2 . 発表標題
彫刻の死、彫刻の母胎 アルトゥーロ・マルティーニと古代文明の再解釈
3 . 子云寺台 研究会「20世紀イタリアの芸術と文化」
WINDA 20 CMO 1 7 7 7 WATILCAIDS
4 . 発表年
2020年
1. 発表者名
重見晋也
Hypertexte et Humanisme;, Seminaire I'Encyclopedie et I'hermeneutique
21 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 -
3.学会等名
College international de Philosophie(招待講演)(国際学会)
4 · 光农中 2021年
1.発表者名
中村靖子
2 . 光衣信題 次元を拓く-文学と感情-
Mucoun N 大子に芯用 ^一
3 . 学会等名
日本認知科学会第36回大会 オーガナイズド・セッション(招待講演)
4. 発表年 2010年
2019年
1.発表者名
2.発表標題
内受容感覚の予測的符号化による感情と意思決定の創発
3 . デムサロ 日本認知科学会第36回大会 オーガナイズド・セッション
4.発表年
2019年

4 38 = 447
1 . 発表者名大平英樹
2.発表標題
深層学習・人工知能・認知モデリングー心理学・認知神経科学の立場からー
3 . チ云寺日 日本認知科学会第36回大会プログラム委員会企画シンポジウム(招待講演)
ロやWMで1十大スプU回八五ノロノンム女員式正門ノンホノノム(IniteMy
2019年
2000
1.発表者名
大平英樹
2. 発表標題
神経系・内分泌系・免疫系のクロストークを実現する予測的処理
日本行動科学学会・日本心理学会連携企画シンポジウム(招待講演)
2019年
2010—
1.発表者名
/\ \ /\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2. 発表標題
予兆にもとづく意思決定
3.学会等名
名古屋大学予兆学シンポジウムYOCHOU2019(招待講演)
4.発表年
4. 光 双 年 2019年
2010 T
1.発表者名
Li, G., & Jin, M
— · i a · i a · a · · · · · ·
2 . 発表標題
Diachronic changes of sentence-final expression in modern Japanese novels
2
3.学会等名
International Conference on Language and Literature 2020(国際学会)
4.発表年
2020年
7050 [—]

1.発表者名 Sun, H & Jin, M
2 . 発表標題 Ghostwriting analysis using outlier detection methods
3 . 学会等名 International Conference on Language and Literature 2020(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名 Sun, H., & Jin, M
2 . 発表標題 Quantitative analysis of writing style problem in Yasunari Kawabata's novels
3 . 学会等名 Global Digital Humanities Symposium(国際学会)
4 . 発表年
2020年
4 V=±47
1.発表者名 Sun, H., & Jin, M
2 . 発表標題
Improving the performance of Japanese authorship attribution with phonetic related information
A MA A A A A A A A A A A A A A A A A A
3 . 学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies(国際学会)
4.発表年 2019年
ZUI3 '
1.発表者名 Liu, X., & Jin, M
2 . 発表標題 A corpus-based approach to explore the stylistic peculiarity of Kouji Uno's postwar work
A compact backs approach to express the styristic pocurrantly of hough one is postwar work
3 . 学会等名
16th Conference of the International Federation of Classification Societies, (国際学会)
4. 発表年
2019年

1.発表者名 Oshiro, N., Irie, S., & Jin, M	
2.発表標題 Quantitative analysis of phonological structure used in dialects in Osamu Dazai's works	
3.学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies, (国際学会)	
4 . 発表年 2019年	
1.発表者名 Piao, J., & Jin, M.	
2. 発表標題 Multi-loss CNN architecture for image classification	
3.学会等名 16th Conference of the International Federation of Classification Societies,(国際学会)	
4. 発表年 2019年	
1. 発表者名 葉柳和則	
2.発表標題 軍艦島のグローカリティ 意味づけの政治を軸に	
3.学会等名 長崎大学・国際基督教大学共同研究シンポジウム「平和の翼と波を広げる 現在・過去・未来 」	
4 . 発表年 2019年	
〔図書〕 計22件	7V./ In-
1.著者名中村靖子	4 . 発行年 2022年
2.出版社 春風社	5.総ページ数 ⁴⁵⁰
3.書名 予測と創発	

1.著者名 池野絢子	4 . 発行年 2022年
2.出版社 春風社	5 . 総ページ数 32
3.書名 予測と創発:分担執筆「第6章 失われた芸術作品の再構築ーークルト・シュヴィッタースの《メルツバウ》をめぐって」	
1.著者名 山本哲也	4 . 発行年 2022年
2.出版社 春風社	5.総ページ数 ²⁵
3.書名 予測と創発:分担執筆:第10章 私を理解し表現する人工知能	
1.著者名 大平英樹	4.発行年 2022年
2.出版社 春風社	5.総ページ数 ⁵⁴
3.書名 予測と創発:分担執筆「第11章 予測により創発される心性」	
1.著者名 池野絢子	4 . 発行年 2022年
2.出版社 京都芸術大学 東北芸術工科大学出版局 藝術学舎	5.総ページ数 32
3 . 書名 『芸術学入門-美術鑑賞の基本 』(分担執筆:「芸術鑑賞3 西洋美術・ルネサンス編」、「芸術鑑賞4 西洋美術・近現代編」)	

1.著者名	4 . 発行年
大平英樹	2022年
م المالات علم	Γ 4/\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2.出版社	5.総ページ数
東京大学出版会	38
3 . 書名	
認知科学講座4 心をとらえるフレームワークの展開 (分担執筆:認知科学講座4 心をとらえるフレーム	
ワークの展開)	
4	4 30/- F
1 . 著者名	4 . 発行年
A・D・(バド) クレイグ、花本 知子、大平 英樹	2022年
2 . 出版社	5.総ページ数
青灯社	756
3. 書名	
我感ずる、ゆえに我あり	
	1
1 . 著者名	4.発行年
波多野 賢治、天笠 俊之、鈴木 優、宮崎 純、楠 和馬、金明哲(総監修)	2022年
2 山 LC ナエ	「 4小 o° こ**tr
2. 出版社	5 . 総ページ数 242
岩波書店	272
3 . 書名	
テキストデータマネジメント	
	I
. ****	4.発行年
1.著者名 全田哲 中村徳子 F阪 彩秀 土山 女 孫 見 劉 雪琴 李 広微 入江 さやか	
1.著者名 金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか	2021年
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか	
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 .出版社	
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか	2021年
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 .出版社	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金明哲、中村靖子、上阪 彩香, 土山 玄 , 孫 昊 , 劉 雪琴 , 李 広微 , 入江 さやか 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数

1.著者名	4 . 発行年
池野絢子、分担執筆	2022年
	· .
2 . 出版社	5.総ページ数
書肆九十九	3 . Mic・ハー ク 女X 608
E) AF7/0 1 / 0	
っ 妻夕	
3.書名	
『彫刻 2 彫刻、死語/新しい彫刻』	
	_
1.著者名	4.発行年
Hldeki, Ohira Mladenka TMladenka Tkalcc i Marko Toncic	2022年
2 . 出版社	5.総ページ数
0	305
•	
3 . 書名	
Conversation between the brain and the intestine: What happens when the intestines become	
nervous?: A look at the irritable bowel syndrome from a biopsychosocial perspective	
	_
	T
1 . 著者名	4 . 発行年
1.著者名 山本哲也(分担執筆)	4.発行年 2022年
山本哲也(分担執筆)	2022年
山本哲也(分担執筆) 2.出版社	2022年
山本哲也(分担執筆)	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2.出版社	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2.出版社 全国社会福祉協議会	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2.出版社 全国社会福祉協議会	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名	2022年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援	2022年 5.総ページ数 ³²⁴
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1. 著者名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援	2022年 5.総ページ数 ³²⁴
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1. 著者名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1. 著者名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆)	2022年 5 . 総ページ数 324 4 . 発行年 2021年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1. 著者名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社	2022年 5 . 総ページ数 324 4 . 発行年 2021年
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆)	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也 (分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也 (分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research 3.書名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也 (分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也 (分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3. 書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1. 著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research 3. 書名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research 3.書名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数
山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 全国社会福祉協議会 3.書名 社会福祉学習双書2022 第12巻心理学と心理的支援 1.著者名 山本哲也(分担執筆) 2. 出版社 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research 3.書名	2022年 5.総ページ数 324 4.発行年 2021年 5.総ページ数

1 英字夕	4 ※行生
1 . 著者名	4.発行年
葉柳和則	2021年
2 . 出版社	5.総ページ数
	380 J J J J J J J J J J J J J J J J J J J
有 烟·	360
3 . 書名	
ナチスと闘った劇場	
#105	
1.著者名	4.発行年
中村靖子	2021年
	5.総ページ数
春風社	56
3 . 書名	
ナチスと闘った劇場(分担執筆:第3章「アルカディア」というプロジェクションー『テル』の変奏、第6	
章「メーリケを愛する殺戮者ー『ほら、また歌っている』における批判の理路	
	_
1.著者名	4 . 発行年
1 . 著者名 金 明哲	4 . 発行年 2021年
金 明哲	2021年
金 明哲 2 . 出版社	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲	2021年
金 明哲 2 . 出版社	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2 . 出版社 岩波書店 3 . 書名	2021年 5 . 総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年
金 明哲 2.出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1.著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修)	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年
金 明哲 2.出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1.著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2.出版社	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2.出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1.著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修)	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年
金 明哲 2.出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1.著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2.出版社	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店 3. 書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店 3. 書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店 3. 書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店 3. 書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2. 出版社 岩波書店 3. 書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1. 著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2. 出版社 岩波書店 3. 書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数
金 明哲 2.出版社 岩波書店 3.書名 テキストアナリティクスの基礎と実践 1.著者名 那須川 哲哉、吉田 一星、宅間 大介、鈴木 祥子、村岡 雅康、小比田 涼介、金明哲(監修) 2.出版社 岩波書店 3.書名	2021年 5.総ページ数 340 4.発行年 2020年 5.総ページ数

	4 361-F
1.著者名	4 . 発行年
和泉 潔、坂地 泰紀、松島 裕康、金明哲(監修)	2021年
	Į l
2.出版社	5.総ページ数
	5.総ペーン数 172
ᇻ,ᄊ,ᄝ,ᄺ -	··-
	Į l
3 . 書名	
3 · = 1 金融・経済分析のためのテキストマイニング	
1 . 著者名	4.発行年
木俣元一、松井裕美、池野絢子	2021年
	F 442 0 5899
2.出版社	5.総ページ数
中央公論美術出版	312
	Į l
2 津夕	
3.書名	
古典主義再考 前衛美術と「古典」	
<u> </u>	1
1,著者名	4.発行年
	2020年
· · · · · · · · ·	
2.出版社	5.総ページ数
引込線 / 放射線パプリケーションズ	159
	Į l
0 30	
3 . 書名 - 本公の日歌 A . 川田上光 L ** A** T / A**	
政治の展覧会:世界大戦と前衛芸術	
	1
1.著者名	4.発行年
- 「・看有石 アプドゥルラッハマン・ギュルベヤズ、葉柳和則、森 元斎	2021年
・	
	Į l
2 . 出版社	5 . 総ページ数
松本工房。	191
	Į l
3 . 書名	
多文化社会学解体新書21世紀の人文・社会科学入門	
	l

1.著者名 苧阪直行 / 菊知 充 / 大平英樹 / 髙橋英彦 / 松井三枝 / 今水 寛 / 大木 紫、 前田貴記 / 村田 哲 / 山極 壽一	4 . 発行年 2020年
2.出版社 日本学術協力財団	5.総ページ数 203
3.書名 社会脳から心を探る 自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6. 研究組織

6	研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	大平 英樹	名古屋大学・情報学研究科・教授	
研究分担者	(Ohira HIdeki)		
	(90221837)	(13901)	
	金 明哲	同志社大学・文化情報学部・教授	
研究分担者	(Jin Mingzhe)		
	(60275469)	(34310)	
		青山学院大学・文学部・准教授	
研究分担者	(Ikeno Ayako)		
	(80748393)	(32601)	
		名古屋大学・人文学研究科・准教授	
研究分担者	(Shigemi Shinnya)		
	(40303573)	(13901)	
		長崎大学・多文化社会学部・教授	
研究分担者	(Hayanagi Kazunori)		
	(70332856)	(17301)	

6.研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者		徳島大学・大学院社会産業理工学研究部(社会総合科学域)・准教授	
	(60779396)	(16101)	
	中川 拓哉	名古屋大学・人文学研究科・博士研究員	
研究分担者	(Nakagawa Takuya)		
	(10829906)	(13901)	

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------